

環境科学部 環境保全設計コースの カリキュラム・ポリシー

教育目標

1. 環境における諸現象および環境をめぐる諸問題を科学的に捉えるための専門的知識を修得する。
2. 問題を発見し、解析し、改善するための科学的方法を身につける。
3. 全地球的な視野に立ちながら、地域や身の回りの環境に配慮して行動できる。

特徴1: 多様で複雑な環境問題に対応できるようになるため、広く科学技術系分野の科目を修めるとともに、人文社会科学分野の科目も多く揃えて、文理融合型の教育を行っています。

特徴2: 環境問題の解決に向けた実践的知識と技術を学ぶため、フィールド調査、室内実験、演習などの科目を多く揃えて、少人数による問題解決実践型の教育を行っています。

特色ある科目

(1年次)環境科学概論

様々な環境問題について、諸要因や影響を多角的に論じること、現状や将来の認識を深めていきます。

(2年次)環境保全設計基礎実験

環境科学分野でよく用いられる地球科学、化学、生物学、物理学の解析方法の基礎を学び、3年次の環境保全設計実験に備えます。

(3年次)環境保全設計演習A・B

各研究室に配属され、卒業研究を進めるために必要な知識と技術の基礎を修得します。

(4年次)環境保全設計特別研究

各研究室に配属され、専門的かつ実践的な研究能力を養いつつ、卒業研究を進め、卒業論文を作成します。

1年次

環境科学の概略と基礎を学びます。

2年次

コース基礎科目を通じて環境科学を習得するための基礎的な知識と技術を学びます。

3年次

コース専門科目を通じて卒業研究を進めるための専門的な知識と技術を学びます。

4年次

各研究室に配属され、専門的な研究能力を養います。

